

令和5年 7月1日

学校長 様

英語ディベート担当教員 様

一般社団法人 日本高校生パラメンタリーディベート連盟
(HPDU of Japan)

SOLA Cup 2023 中高生パラメンタリーディベート国際大会
SOLA Cup 2023 High School International Debate Tournament

実施要項

Society 5.0 時代に向けて、イノベティブなグローバル人材を育成するため、高等学校と国内外の大学、企業、国際機関等が協働し、高校生国際会議の開催等、高校生へ高度な学びを提供するネットワークの形成を目指して、文部科学省はWWL(ワールド・ワイド・ラーニング)コンソーシアム構築事業を展開しています。SOLA Cup は、2021 年、その拠点校であった渋谷教育学園渋谷中学高等学校が、オンラインで実施した「学びのオリンピック SOLA(Shibuya Olympiad in Liberal Arts)」の1種目として、英語ディベート部により企画され、始まりました。

準備から運営まで全てを高校生が行うこの国際ディベート大会は、これが3回目となりますが、HPDU は、共同主催団体として、国際大会を開催するにあたっての指導、ジャッジの召集、オンライン大会開催のサポートなどを担当しています。

このような中高生による中高生のための国際大会は世界にも類を見ない試みですので、パラメンタリーディベート大会に出場した経験がある生徒さんがいらしたら、是非お声掛けいただきたく、お願い申し上げます。

共同主催

一般社団法人 日本高校生パラメンタリーディベート連盟(HPDU of Japan)
学校法人 渋谷教育学園渋谷中学高等学校 (Shibuya Junior and Senior High School)

後 援

PDA 一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (Parliamentary Debate Personnel Development Association)

協 賛

有限責任 あずさ監査法人(KPMG AZSA LLC)

協 力

iae グローバルジャパン株式会社 (iae GLOBAL JAPAN, Inc)
エイムネクスト株式会社 (AIMNEXT, Inc.)
株式会社オールアバウト (All About, Inc.)
株式会社トモノカイ(Tomonokai Co.,Ltd.)

1 主旨

- 1) 総合的英語運用能力向上に有効であるパラメンタリーディベートの技術や技を学ぶ。
- 2) 身近な問題や社会の問題について論理的で説得力のあるスピーチを即興でできる力を伸ばす。
- 3) 海外の高校生ディベーターとの交流の機会を提供する。

2 日時

2023 年 8 月 13 日(日)8:30～18:00 予選

2023 年 8 月 17 日(木)8:30～18:30 本戦(決勝トーナメント)

3 場所

Zoom を使用して実施するため各自 Wi-Fi 環境が整っている場所をご用意してください。また、大会当日の連絡などには Slack を使用します。参加選手および顧問の先生は予め Zoom と Slack のアカウントを取得してください。Slack については後ほど詳細をお送りし、workspace への招待を行います。

4 試合形式

- 1) 試合: World School's Debating Championship (WSDC) Style による国際高校生即興英語ディベート大会 (但し本大会用に修正を加えたもの)
 - ※予選: 5分、5分、5分、5分、5分、5分、3分、3分
 - ※本戦: 8分、8分、8分、8分、8分、8分、4分、4分
 - ※1 チーム 3 名、準備時間は 30 分。
- 2) 予選 4 試合、本戦 3 試合
 - ※各チームの勝ち数とスピーカー得点で、上位 8 チームを決め本戦を開きます。
 - ※本戦出場のチーム数については、参加チーム数によって変更の可能性があります。
 - ※パワーペアリングを優先するため、肯定側と否定側のバランスが取れない場合があります。
- 3) 得点ポイントの高かったチーム及びディベーターを表彰します。
- 4) スピーチの順番と時間:

準備時間:30 分	
1st Proposition Speaker (予選 5 minutes/本戦 8 minutes)	
	1st Opposition Speaker (予選 5 minutes/本戦 8 minutes)
2nd Proposition Speaker (予選 5 minutes/本戦 8 minutes)	

	2nd Opposition Speaker (予選 5 minutes/本戦 8 minutes)
3rd Proposition Speaker (予選 5 minutes/本戦 8 minutes)	
	3rd Opposition Speaker (予選 5 minutes/本戦 8 minutes)
	Opposition Reply (予選 3 minutes/本戦 4 minutes)
Proposition Reply (予選 3 minutes/本戦 4 minutes)	
ジャッジによる結果発表とフィードバック(リフレク):20分 ※決勝戦のみリフレク時間を設けません	

※本戦の Substantive Speech は各8分です。

5 各スピーチの採点方法

- 1) 本年度の大会では、個人得点は、WSDC Marking Standard の基準に基づいて与えられます。
- 2) Substantive Speech は 100 点中、Content に 40 点、Style に 40 点、Strategy に 20 点分配点されます。
- 3) Reply Speech は 50 点中、Content に 20 点、Style に 20 点、Strategy に 10 点分配点されます。
- 4) ジャッジはこの WSDC Marking Standard 以外の Scoring System は利用できません。

6 審査員

- ラウンドの審査とディベーターへのフィードバックを行う審査員を募集します。
- こちらのフォームから申し込みをして下さい:<https://forms.gle/xmpZt7YzscFTEfXYA>
- 期限:7/31 23:59 (JST, GMT +9)

7 参加資格

- 1) 中高生
- 2) パーラメンタリーディベート大会 (HPDU, PDA, WSDC, Asian, BP, NA, etc.) の出場経験があること。

8 チーム構成の条件

- 1) 各校・各公式団体から1チームのみ参加できます。中高一貫校でも参加できるのは1チームです。
(このイベントは学びのオリンピックの1種目として開催されるので、各機関の代表選手のみ参加して欲しいため)
- 2) 同一校・公式団体のチームの参加を基本とします。
※海外からの参加者に対しても同一校・公式団体チームの参加を推奨しますが、この条件でチームを構成することが難しい場合、ジョイントも認めることとします。
- 3) チームの登録人数は3人から5人まで。試合ごとのチーム内の交代は自由です。
- 4) 各ラウンドでは、各チームから3人のスピーカーが出場します。ディベートが始まる前に、各チームは3人のスピーカーの名前とスピーチの順番をチェアパーソンに伝えます。ラウンド中に発言できるのは、そのラウンドの開始時にチェアパーソンが発表した各チームの3人のスピーカーのみとします。

9 参加費

無料

10 申込

こちらのリンクから申し込みをして下さい:<https://forms.gle/xmpZt7YzscFTEfXYA>

期限:7/31 23:59 (JST, GMT +9)

11 問合せ先

SOLA 2023 実行委員会 e-mail: sola2023shibushibu@gmail.com

SOLA Cup 運営本部 e-mail: eventsola8@shibushibu.jp

12 日程(微調整のため変更する可能性有り)

8/13(日)予選

8:15-8:45	受付
8:45-9:05	Briefing
9:10-9:20	第1試合 対戦表、論題発表
9:20-11:00	準備 30分、試合 50分(5-5-5-3)、リフレク 20分
11:00-11:10	第2試合 対戦表、論題発表
11:10-12:50	準備 30分、試合 50分、リフレク 20分
12:50-13:20	休憩
13:20-13:30	第3試合 対戦表、論題発表

13:30-15:10	準備 30 分、試合 50 分、リフレク 20 分
15:10-15:20	第4試合 対戦表、論題発表
15:20-17:00	準備 30 分、試合 50 分、リフレク 20 分
17:45-18:10	結果発表

8/17(木)本選

8:30 - 8:45	受付
8:45 - 9:00	Briefing
9:00 - 9:30	SOLA 開会式
9:30 - 9:40	準々決勝対戦表、論題発表
9:40 - 11:40	準備 30 分、試合 70 分 (8-8-8-4)、リフレク 20 分
11:40 - 11:50	準決勝対戦表、論題発表
11:50 - 13:50	準備 30 分、試合 70 分、リフレク 20 分
13:50 - 14:10	休憩
14:10 - 14:20	決勝対戦表、論題発表
14:20 - 16:00	準備 30 分、試合 70 分
16:00 - 16:30	SOLA 閉会式
18:00 - 18:30	結果発表

13 表彰に関して

- 1) チーム成績は、まず試合の勝ち数で順位を出し、同じ勝ち数のチーム同士の、個人得点の合計を比べて出します。
- 2) 個人成績は、個人得点の累計で出します。
※ただし、予選で2ラウンド以上参加していないディベーターは表彰の対象となりません。
- 3) 賞状はデータの形で送ります(印刷は各学校でお願いいたします)。
- 4) 表彰などで順位を確定させる必要がある場合、勝ち数が同じ、そして個人得点の総点と同じチームがあった場合は、以下の項目の順番で最終的な順位を決定します:

- ・それぞれが対戦したチームの勝ち数の合計
- ・上記の合計が同じ場合は、それぞれが対戦したチームの個人得点の合計

14 注意事項

- ・ディベーターは試合中に時間を計る際はストップウォッチかタイマーを使用してください。(スマートフォンは不可)
- ・ディベーターは準備時間内にラウンドに参加するチーム内の者以外と相談することはできません。
- ・ディベーターは準備時間内そして試合中に、電子辞書を除いた電子機器(例 インターネット 接続機能を持ったタブレット・コンピューター等)を資料の検索を目的に使用することはできません。
- ・Zoom、Slack を使用する目的を除いて、電子辞書以外の電子機器(インターネット接続機能を持ったタブレットなど)を、情報検索のために準備時間と試合中に用いることはできません。また、リサーチ目的などで書籍を利用することもルール違反となります。
- ・Point of Order(試合中に対戦相手のルール違反を指摘する行為)は禁止します。ルール違反があった場合、ジャッジが判断をするものとします。試合進行上支障をきたすルール違反があった場合、ジャッジが適切な処置をします。
- ・Constructive Speech に対して Point of Information (POI) を行う場合「Point」「Point of Information」などの表現で POI による発言の許可をスピーカーに求めてください。予選では5分間の最初と最後の 30 秒間、決勝トーナメントでは8分間の最初と最後の 1 分間は POI 不可。POI により発言を許可された者は、15 秒間だけ発言を許されます。Reply Speech に対しては POI 不可。
- ・スピーチ中は、zoom に顔を映してください。
- ・相手チームの顧問の承諾なしに、試合を録音、撮影、録画することは禁止されています。
- ・SOLA 2023 実行委員会の記録担当が撮影したものに関しては、後日、SOLA 2023 のホームページ、共催・協力団体への報告書、SOLA 2023 についての説明会や講演等で使用することがあります。ご了承ください。
- ・急な発熱などにより選手を変更せざるをえない場合は、大会前日の 19 時まで連絡してください。代わりの選手が見つからず、2 名以下での参加となってしまった場合は、個人賞の対象にはなりません。チーム賞の対象にはなりません。
- ・試合当日は昼食時間を設けませんので、試合の準備時間や休憩時間を用いて各自昼食をとってください。

15 オンライン利用の大会実施に関する注意事項

- ・スマートフォンを各自一台用意してください。また、Zoom と Slack を使用しますので、参加選手と顧問はアカウントを取得してください。
- ・今大会はオンラインで行うため、通常の運営と異なることが多々あります。スケジュールや進行がスムーズに行かない可能性があることもご了承ください。
- ・オンラインによる大会なのでネット回線がある環境が用意できることが参加条件になります。各参加者は必ず適切な環境で試合ができるように事前に準備をしてください。
- ・自宅で参加できるということにより気が緩むことがあるかもしれませんが、「13 注意事項」を守り、不正は絶対に行わないようにして下さい。万が一、不正が発覚した場合は、その選手が所属している学校・機関は HPDU が開催する大会に一年間参加できなくなります。

- 準備時間中にチーム内でメッセージ等を行うことは可能ですが、対面での試合と同様に、スピーチ中のチームメイトにチャット等を通してアドバイスをしたり文面を送ったりすることは禁止です。万が一、不正が発覚した場合は、その試合は失格となります。
- 試合中の Zoom での回線トラブルに関するルールは、以下になります。
 - 1) 各試合において、各チームは、合計 10 分間以上、回線トラブルのために試合を中断した場合、失格となります。
 - 2) 回線が落ちたスピーカーが 5 分経って戻って来ない場合は他の人が代わりにスピーチを行うこと。そのスピーチについての個人スコアは、スピーチの質に関係なく Marking Standard に基づいた最も低いスコアとなります。
 - 3) Zoom での回線が落ちた場合に各人が行うべきこと：
 - 自分の回線が落ちた場合：まずストップウォッチを止め、事前に配布するトラブル シューティングに従い、復旧に努めます。
 - スピーチ中のチームメイトの回線が落ちた場合：その選手が 5 分経っても戻ってこなかった場合は、代替りのスピーカーがスピーチの続きを行います。
 - 相手チームのスピーチ中に、それに反論する次のスピーカーの回線が落ちて 5 分経っても戻ってこない場合：その選手のスピーチは、代替りの選手が行います。
 - ジャッジの回線が落ちた場合：スピーチ中であれば、①ジャッジはストップウォッチを止める。→ ②ディベーターはジャッジが戻ってくるまで待つ → ③ストップウォッチの時間を確認してスピーチを再開してもらいます。
 - オンラインでの試合を安定して実施するために、試合会場に入れるのは、試合をする選手、ジャッジ、試合をする学校の方各 1 名（顧問やコーチなど）、本大会の運営（HPDU 関係者）のみとさせていただきます。